

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会における環境に配慮した取組について

1 環境に配慮したいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会について（令和2年8月 常任委員会決定）

両大会における新たなテーマとして「環境への配慮」を打ち出し、関係者の連携と県民の参加により幅広い取組へとつなげます。

2 両大会における主な取組内容（予定）

【本】：本大会・障スポ大会

【冬】：冬季大会

(1) 運営面における環境配慮

両大会の運営において、可能な限り環境への負荷が小さくなるよう、式典や競技会の実施において様々な取組を行います。

- ・再生可能エネルギー（太陽熱給湯システム、地中熱空調システム）設備の活用【本・冬】
- ・FCV、EV自動車を活用したイベントスペース等への電力供給【本】
- ・各種媒体の電子化による紙使用量の削減【本・冬】

(2) 調達する物品等における環境配慮

必要となる物品等の調達において、環境に配慮した製品を積極的に利用します。

- ・運営スタッフ等が着用する服飾類における再生素材の利用【本・冬】
- ・包装類でのプラスチック以外の素材利用【本・冬】
- ・FSC（森林認証）を受けた紙素材の利用【本・冬】
- ・両大会での使用を想定した、県内ものづくり企業による環境負荷の低減が図れる製品の開発支援【本・冬】※産業労働観光部で実施

(3) 両大会の開催を通じた環境配慮に関する周知啓発

両大会の周知と併せて、環境配慮に関する啓発や行動を促すための取組を行います。

- ・公共交通機関の利用促進【本・冬】
- ・会場等における食品ロスやゴミ削減などの呼びかけ【本・冬】
- ・COOL CHOICE とちぎによる地球温暖化対策の普及啓発【本】

3 今後の取組について

令和4年1月に開催する冬季大会を皮切りとし、本大会及び障害者スポーツ大会の開催に向け、より多くの方から参加・協力を得られるよう、引き続き取り組みを進めていきます。